



八瀬の流れ

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和4年7月20日 発行
第4号

なぜ夏休みがあるの？（夏休み前集会の話から）

今日で1学期前半69日間が終了し、明日から、楽しみにしていた夏休みが始まります。ここまで皆さんは、勉強に運動に一生懸命頑張ってきました。たくさん思い出もできたことと思います。



さて、夏休みについて少し考えてみたいと思います。日本の夏休みは、今から130年ぐらい前に始まったそうです。長い歴史があるんですね。

ところで皆さん、夏休みや冬休みの期間に、場所によって違いがあることを知っていますか。気仙沼市では、明日から始まり、8月23日までの33日間ですが、長いところだと千葉県が46日間もあるそうです。短いのは、北海道で27日間だそうです。反対に冬休みになると、千葉県は12日間と短くなり、北海道は25日間になるそうです。このような違いは、夏にどれくらい暑いのか、冬にどれくらい寒いのかなど、場所によって休みの長さが違ってくるのです。

昔は、教室にエアコンはありませんでした。そのため、暑すぎて、教室では勉強できなかったため、夏休みがこんなに長かったのではないかと予想ができますね。でも、今は教室にエアコンがあって快適に過ごせるのに、どうして夏休みは長いのでしょうか？長くなくてもいいのではないのでしょうか？

夏休みが長いには理由があると思います。ここからは、校長先生の予想ですが聞いてください。夏休みがあるのは、ここまで頑張ってきた「心と体をリフレッシュすること」そして、「大人に頼らずに自由な時間を自分で考えて計画的に過ごすこと」のためにあるのではないかと考えています。皆さんは学校に来ると、先生方に言われた勉強に取り組んでいます。でも、夏休みは違います。確かに「宿題」はやらなくてははいけません。それ以外に自分が「自由にできる時間」がたくさんあります。その『「自由な時間」を「自分で考えて計画的にどう使うか」』が、とても大切なのです。夏休みにしかできないようなことを、自分で計画を考えて、取り組むことが重要なのだと思います。1日1日を、どう過ごすか



計画を立てることができるようになると、夏休みが終わってからも楽しく過ごせるし、また大人になっても自分のやりたいことをたくさん見付け、取り組める人間になります。反対に、「自由な時間」をだらだらと過ごし、夜遅くまで起きていたり、ゲームやタブレットばかりしたりしていると、何も頑張れない人間になってしまいます。そのような人は、大人になっても、自分で計画を立てることができず、何をしたらよいか分からない人間になってしまいます。そんなのは嫌ですね。ですから、この夏休みは、まず「心と体をリフレッシュ」して、そして「自由な時間」を大人に

言われた通りにやるのではなく、自分で考えて「計画的に」過ごしてほしいと思います。ぜひ、自分で「これは頑張りたい」という目標を立てて生活してほしいと思います。校長先生は、この前ドローンを買いました。ドローンの操縦などをしっかり勉強したいと思っています。

最後にお願いです。新型コロナウイルス感染症が、また広がってきているようです。夏休み中も、今まで学校でやってきたように、三密を避け、手洗いをし、規則正しい生活をして、予防に努めてほしいと思います。

8月24日、一回りも二回りも大きく成長したみんなに会えることを楽しみにしています。

月立っ子ギャラリー



今月の月立っ子の様子を御覧ください。
また、ホームページでは、学校の様子をほぼ毎日掲載しています。そちらもどうぞ御覧ください。

<http://www.kesenuma.ed.jp/tsukidate-syou/>



1年生 初めての水泳学習



3・4年生 ソバの種まき



5・6年生 修学旅行 ～五色沼にて～



クラブ活動 ～さをり織り体験～



1～4年生 遠足(安波山, 魚市場)



5・6年生 Webなわとびで県教委から表彰

夏休み明け、元気な子供たちに会えることを楽しみにしています